

溪流の周辺の草地の上を、超スローに動くラジコンのヘリコプターのように飛んでいる不思議な生きものに出会いました…！

◆写真①・②： クロハネシロヒゲナガ

◇小さな蛾（前翅長 1 cmほど）ですが、♂の触覚は前翅長の4倍近くもの長さがあるのです。

◇こんなに長い触覚を持っているのですから、うまく飛べるはずがありません。非常に目立つ白く長い触角が、波打って上下に揺れながら“ゆらりゆらり”と飛びますので、生きものと言うよりは何か不思議な物体のように見えてしまうのです…

◇ダーウィンの“進化論”でいえば、役に立ちそうにない上、捕食者にすぐ捕まってしまいそうな無用の長物をもった生きものなど、とうに淘汰されてしまうはずなのに…

いったいどのようなメリットがあるのでしょうか…？

◇ちなみに、♀の触覚は♂よりもずっと短く、前翅長の 1.5 倍程度です。

◆写真③： ホソオビヒゲナガ

◇先の謎に満ちた生物と似た感じですので、近縁種なのでしょうね。

◇こちらは触覚の長さもほどほどですので、♀ですね！

◆写真④： アサヒナカワトンボ（ニシカワトンボ）

◇羽化したてみたいでした。







